

ISECLの記号は、情報学教育協働学習環境のコードです。
Textbookの数字は、教科書のユニット番号です。

情報の社会化における 新たな限界

教科書：松原（2014）ソーシャルメディア社会の教育，開隆堂。

新たに生じる**限界**

可能・不可能に限界



経験則に限界



前例主義に限界



価値観に限界

- (1) 可能だったことが不可能になり、
また、不可能だったことが可能に
- (2) 経験したことが有効に機能しない
事態が発生し、
- (3) そのため、今まで大事に処理され
てきた前例が参考にならなくなって
- (4) 結局のところ、今までの価値観が
変わったり、逆転したりする

(1) 可能・不可能に限界

- 可能だったことが、不可能に
 - 街の公衆電話でさりげなく、...
 - 応接間の百科事典で興味を深めて、...
 - 「居留守」や「知らんぷり」が困難に、...
- 不可能だったことが、可能に
 - 携帯電話の普及により...
 - インターネットの活用により、...
 - SNSの利用により、...

(2) 経験則 (経験から帰納された事物の考え方・法則) に限界

● 津波の安全対策は？

- 今まで津波が来なかったから、大丈夫だ。

● 背高の収納庫は、地震が起きたら倒れるかも知れないね。だから鎖で留めておくべきでは？

- 大丈夫, 大丈夫, 問題ないよ。

● 他にも・・・ (電気コード, 海外旅行, 待合わせ, ...)



● 経験から判断することに限界か？

- 現実には経験を超えている。・・・想定外が起こる。
- 経験した世界は、今は変わっている。

(3) 前例主義に限界

- 今年の〇〇〇は、どのようにしましょうか？
 - 去年のやり方で、いかがでしょうか？
- 今回提案するものは特に変更したところはなく、昨年と同様ですので、ご承認下さい。
 - 前例が承認されているので、今回も承認を。
 - 時代や社会が既に変化しているのに、それに対応していない。→ 出遅れ, 危険, 誤解, …



- 「前例通り」から「新提案」が求められる

(4) 価値観に限界

- 大事なことは、皆で集まった会議で**決める**。
 - 大事なことから、電話やメールなどメディアを使用しないで、会って決めた方が良い。
 - ・ 教授会, 役員会, PTA会議, クラブの部員会議, …
 - ・ 会議で何かを決める際の考え方(価値観)だったが…
- ↓ ところが,
- 大事なことは、皆で集まった会議では**決めない**。
 - 部長は今週, ニューヨークに出張中で, …
 - 課長は昨日より, 福岡支店に出向いて…
 - ・ 欠席者(重要な人物)が多くなった。

ともだち

- 学校に行くと

「……, ともだち, 100人できるかな？」

- 友達は少ないより, 多い方が良い

↓ ところが

- SNSで, つながる・つながる……

- 小学校の時の友達, 中学校の時の友達, 高校の時の友達, 大学の時の友達と, …
- 結局, 友達が, 200人に, 1000人に, …

お店で商品を見てると、・・・

- 店員どうしが**ちょっと離れて立ち話**
→ 何をしているの、しっかりと接客を！
と言いたいところですが、・・・



→ 実は、**立派な勤務中**



- 価値観の変化
→ 客は一人で冷静に商品を見たい
 - ・ ネットで商品知識は十分。後は実物を見てから。
 - ・ 質問や用事があれば、店員を呼ぶので・・・

メニュー

次に進む ※これより先は非公開です。

PUSH

情報学教育協働学習 (ISECL) へ戻る

[PUSH](#)

情報学教育ポータルサイト (ISEPS) へ戻る

[PUSH](#)

松原研究室へ

[PUSH](#)

情報学教育の展開編

※これより先は、非公開です。